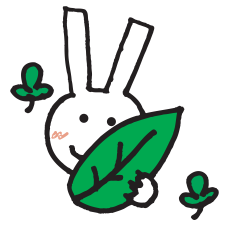




こうせい



平成25年5月1日発行

恒生病院 回復期リハビリテーション病棟 が開床いたしました

この度、平成25年4月より、恒生病院は新たに回復期リハビリテーション病棟（50床）がオープンしました。

これからは、急性期、回復期、そして維持期を含めた、一貫したリハビリテーションを提供することが可能となりました。



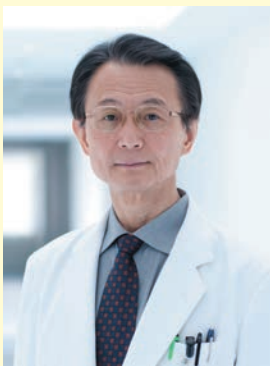
院長からのご挨拶

昭和59年に神戸市北区有野町で恒生病院を開設以来、脳神経外科を中心とした救急医療に積極的に取り組み、微力ながらも地域医療に貢献してきたものと自負しております。その後、建物の老朽化や最新医療設備の設置には手狭になってきたため、平成19年に現在の道場町日下部に新築移転いたしました。移転後も救急医療、とりわけ脳卒中には力を入れ、年間約1200例の救急車の受け入れ、約500例の脳卒中患者の入院治療、約300例の脳神経外科手術を行ってきました。

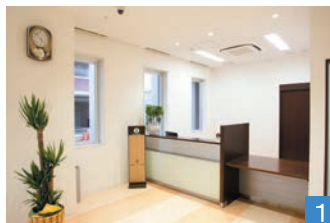
一方、脳卒中後のリハビリテーションの重要性を鑑み、脳卒中発症直後からの急性期リハビリテーションにも積極的に取り組んで参りました。しかしながら、これまでは脳卒中の急性期治療および急性期リハビリテーションが終わってからの回復期リハビリは、他病院の回復期リハビリテーション病院へ転院して頂くことになり、当院での継続した地域完結型のリハビリテーションを提供することが出来ませんでした。

今回、新たに増築により念願の回復期リハビリテーション病棟をオープンすることが出来ました。これにより急性期、回復期さらには維持期（慢性期）までの一貫したリハビリテーションを行うことが可能となりました。

今後はさらにスタッフを充実させて、訪問看護、訪問リハビリテーションにもこれまで以上に取り組み、恒生病院職員全員が一丸となり地域医療、介護、福祉に頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



院長 古瀬 繁



1



2



3



4



5

- 1 1階受付
- 2 相談室
- 3 リハビリテーションルーム
吹き抜けの空間となっており、全面の窓ガラスからは明るい日差しが燦々と降り注ぎます。
- 4 3階デイコーナー
患者様とご家族様の憩いの場
- 5 カフェ&レストラン「ラ・クール」
これまでご家族様からご要望の多かったカフェ&レストランが、回復期病棟に新しくオープン。外来やリハビリの待ち時間、診察後にお食事をとって頂いたり、またカフェで休憩もして頂けるようになりました。

あじさいコンサート開催のお知らせ →→→→

入場
無料

日時：平成25年6月8日(土)
午後2時15分～3時

場所：恒生病院
1F 外来待合室

出演者

サクソ奏者
梶田 勇 様

毎年大盛況の院内音楽会を開催します！
みなさまお誘いあわせの上、ご自由にご参加下さい♪



外来担当医表

平成25年5月より 【受付時間】 午前診 8:30～11:30 夜間診 17:00～18:30
3月より新しく脳外科・水田医師が就任いたしました

		月	火	水	木	金	土
午前診 9:00～	1診 (脳外予約)	田村	森	田村	頃末	古瀬	古瀬/森/奥田/ 田村交替制
	2診 (脳外)	森	水田	水田	池田	田村	田村/頃末/森 交替制
	3診 (整形)	角谷	脇	小林	河本	小林	高山
	4診 (内科)	頃末 (脳外予約)	奥田 (脳外予約)	*1 藤田		*1 藤田	
	5診 (脳外初診)	水田	古瀬	森	田村	頃末	
午後予約診			奥田	奥田			
夜間診 17:00～	1診 (脳外)	森	水田	石井	田村	今堀	
	2診 (脳外)	頃末			池田		
	2診 (内科)			岡野			

*1 水・金の内科・藤田診は、検査の為午前9時30分より診療開始です。

★ 1診は予約の方のみとなります。予約診の受診方法については、受付にてご確認ください。
★ 救急搬送や緊急手術などにより、急な変更がある場合がございますのでご了承下さい。

脳外科診は患者さまが多く大変混み合います。再診を受けられる方は、『予約診』での受診をおすすめ致します。

交通のご案内

電車でお越しの方・・・

三宮方面からは神戸電鉄「谷上」駅より、三田方面からは神戸電鉄「三田」駅より「道場南口」駅下車、すぐ。

お車でお越しの方・・・

中国自動車道「西宮北」インターを降り、有馬街道を三田方面へ約2km。

駐車場のご利用について

病院東側に契約駐車場がございますのでこちらをご利用下さい。
(診察を受けられた方に限り、駐車券を病院会計までお持ち頂くと3時間まで100円となる割引サービス処理を致します。)

患者の権利と義務

全ての患者は個人として人格と価値観を尊重され、医療従事者との信頼、相互協力関係のもとで誠実な医療、看護を受ける権利を有しています。そのため恒生病院では患者の権利とそれに伴う義務を定めています。

権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
患者は誰でも社会的地位、民族、国籍、宗教、障害の有無によることなく最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 十分な説明と情報を得る権利
患者は自分が受ける治療や検査に関して分かりやすい言葉で十分に理解できるまで説明や情報の提供を受ける権利があります。
3. 自己決定する権利
患者は十分な説明と情報提供を受け、医師や病院の選択、治療方法を自ら決定する権利があります。
4. 自分が受けた医療について知る権利
患者は自分の病気や受けた治療について知る権利があり、カルテの開示などを求める権利があります。
5. 個人情報を守られる権利
患者は診療に関する個人情報やプライバシーを厳しく守られる権利があります。

義務

6. 患者は自身の健康状態や考え方を医療従事者に正確に伝えてください。
8. 患者は他の患者の治療や療養生活に支障をきたさないようにしてください。

無料送迎バス

病院から無料送迎バスの運行もございます。
送迎ルートや時刻表については、直接病院総合受付窓口までお問い合わせ下さい。 ☎078-950-2622

恒生病院の理念と方針

理念

誠実な医療・介護を通じて社会に貢献する

方針

- ・脳神経外科を中心とした救急医療に情熱を持って取り組み、地域医療に貢献します。
- ・患者さまの尊厳を守り人権を尊重し、安心で安全な医療・介護を提供します。
- ・絶えず新しい知識と高度な技術の習得に努め、地域から信頼される施設を目指します。
- ・職員一人一人が生きがいとやりがいを持って全人格を医療・介護に捧げられる職場を実現します。
- ・法規範を遵守し、開かれた施設として情報を公開し、第三者評価を積極的に受け入れます。

施設管理者(院長) 古瀬 繁

恒生病院 回復期リハビリテーション病棟オープン！

この度、神戸市北区道場町に、恒生病院の隣に新しく「回復期リハビリテーション病棟」が開床いたしました。既存の急性期病棟と調和した素敵なお外観となり、患者様にも居心地の良いリハビリ空間となることと思います。

そんな新しくなった、恒生病院 回復期リハビリテーション病棟 のご紹介です。

『回復期リハビリテーション』とは？

急性期・回復期と一貫して行うことで、より充実したリハビリテーションを患者様に提供していきます。

急性期のリハビリ

症状・兆候の発現や手術等による症状が急激に表れ、全身管理を必要とする時期。

この時期は病状が多岐にわたるので、患者様一人ひとりに合わせたリハビリを進めていきます。

状態良好な方は全身状態を確認しながら、早期離床を促し機能回復に向けて、歩行訓練・日常生活動作訓練、言語訓練…と積極的にリハビリを行います。

病状が落ち着いていない方は、ベッドサイドでの訓練より開始します。関節や筋肉が固まって動かなくならないように「関節可動域訓練」や、床ずれを防ぐ「体位交換」を行います。病状が落ち着いていくのに合わせて医師の指示のもとに、離床を促していきます。

また飲み込みの状態を確認し、患者様に合った食事を提供していきます。口からの飲み込みが困難な方は、管や点滴で栄養を確保します。

文：リハビリテーション科/榎田

回復期のリハビリ

生命の危機状態から脱し、症状が安定に向かっている時期。

病状が落ち着いた方は、機能回復に向けて立位訓練、歩行訓練、言語訓練…と、より集中的にリハビリを行い、機能障害の程度に応じて日常生活・社会生活への適応を目指します。

当院では、生活自体がリハビリと考えており、入院された患者様の生活の場となる「病院生活の自立」が自宅生活の自立につながる第一歩と考えます。

また、退院後の生活に合わせた訓練を実施し、それらを取り巻く周囲の理解や協力を得られるよう、様々な環境の改善に向けて取り組みを行います。「ついさっきまで元気だったのに…」と急に倒れ不安を抱える患者様・ご家族。生命の危機を脱して回復期に入ると、機能回復が期待できる時期であると同時に「この先どうなるのだろう」「手足の麻痺は良くなるのだろうか」と新たな不安を抱える患者様・ご家族。

このような複雑な心理状況にある患者様や家族に対し、良質な入院医療サービスを提供するために、医師、看護師・介護スタッフ、セラピスト、ソーシャルワーカー、栄養士、義肢装具士、薬剤師など、様々な専門技術・知識をもった医療スタッフが職種間の壁を取り除き、患者様・ご家族と一緒にQOL（生活の質）向上、家庭復帰に取り組めます。

『回復期リハビリテーション病院(病棟)』とは？

脳卒中により手足に麻痺が残ったり、骨折により歩けなくなった方に対しリハビリを行うことで、麻痺の改善を目指します。また自宅の環境や介護サービスの利用を調整し、自宅で生活が送れるようになることを目的としています。

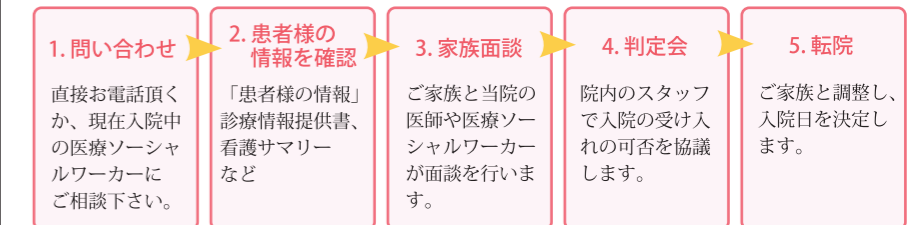
●対象者と入院期間●

疾患	回復期に入院するまでの期間	入院上限日数
脳血管疾患 (脳梗塞、脳出血、くも膜下出血) 脊髄損傷、頭部外傷 (脳挫傷、急性硬膜下血腫) 脳腫瘍、脳炎など	発症後、または手術後60日以内	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害 重度の頸椎損傷および頭部外傷を含む 部位外傷など	発症後、または手術後60日以内	180日
大腿骨骨折、骨盤骨折、股関節骨折など	発症後、または手術後60日以内	90日
外科手術または肺炎等の治療時の安静による廃用症候群	手術後、または発症後60日以内	90日

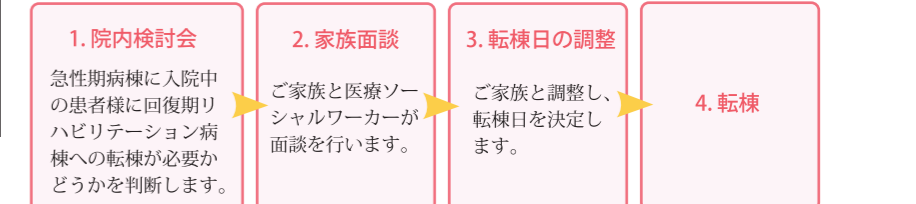
*上記の疾患に対して、治療が終了している方が対象となります。上記は一般的な回復期リハビリテーション病棟の入院対象者であり、当院での入院に関しては個別にご相談下さい。

●入院方法●

パターン1：他医療機関に入院中→恒生病院 に転院する場合



パターン2：恒生病院の急性期病棟に入院中→回復期病棟 へ転棟する場合



文：地域医療連携室/鍛冶

医師紹介

回復期リハビリテーション病棟担当医
奥田裕啓 医師 からのご挨拶

はじめまして、4月にオープンいたします回復期リハビリテーション病棟の専任医を拝命いたしました奥田です。長らく当院で脳外科として勤めさせていただきましたが、今回このような大役を任せられ、身の引き締まる思いです。

さて、最近「リハビリ」という言葉は日本語として広く認知されるようになりましたが、「回復期リハビリテーション（以下リハビリと約します）」とは何だろうか、と首をかしげる方も多いのではないかと思います。ごく簡単に説明いたしますと、急病や外傷で入院され、急性期の治療は終わったものの後遺症などで自宅退院が困難な方を対象として、自宅復帰に向けて行われるリハビリ医療のことを指します。大体の目安として、発症から2ヶ月以内に回復期リハビリ病棟へ移っていただき、重症度に応じて1～3ヶ月程度リハビリを頑張ってください。

当然ながら入院中患者様が一番長く接するのは機能訓練を行う理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のスタッフや、日々の病棟生活の中で日常生活動作能力の改善に努める看護師の皆さんになりますが、リハビリ病棟には医師や医療ソーシャルワーカーをはじめとして多種の職種が関わり、総合的にサポートしていきます。

このような「チーム医療」が回復期リハビリ病棟の最大の特徴であり、「チームワーク」こそがもっとも大切になってくると考えております。古瀬院長先生（脳神経外科）、小林先生（整形外科）のお力を借りつつ新しい病棟の立ち上げに努力していく所存でございますので、どうぞよろしくお願い致します。



新任医師のご紹介

脳神経外科

森 正文 医師 -Masafumi Mori-



Profile

平成16年 三重大学 卒業
平成16年 山田赤十字病院 研修医
平成20年 阪和記念病院 脳神経外科
平成23年 関西労災病院 脳神経外科
平成24年 恒生病院

休日の過ごし方 映画鑑賞、落語

好きな言葉 「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負け無し」

一言ご挨拶

脳神経外科の手術や診療も正に上記の言葉通りだと考えています。常に自分自身を見つめ直しながら向上心を持って、医療に全力を注いでいきたいと思っております。皆さま宜しくお願いいたします。

脳神経外科

水田 晶子 医師 -Akiko Mizuta-



Profile

平成 6年 京都府立医科大学 卒業
平成 7年 京都府立医科大学附属病院
平成18年 蘇生会総合病院
平成21年 暁生会脳神経外科病院
平成23年 さくら会病院
(旧大阪南脳神経外科病院)
平成25年 恒生病院

特技 書道七段(日比野流)

好きな言葉 「誰でも最初は初心者です」

一言ご挨拶

私は、京都生まれの京都市育ちの京女です。この度この恒生病院とご縁があり、神戸の生活も始まりました。基本的に手先を使って何かを作ったりすることが大好きで、休日はパンやケーキ作り、手芸等をしています。それに手術も大好きで、一つの事に集中する時間が一番楽しいひと時です。